

GX形ダクタイトイル鑄鉄管

GENEXの特長

・K形管路以下のコストでダクタイトイル管の耐震管路が実現
※内面粉体塗装、ポリエチレンスリーブ被覆の場合です。

・新しい継手構造でNS形と比べ施工性が大幅に向上
・外面塗装の耐食性向上により長寿命を実現

管路布設コストの低減

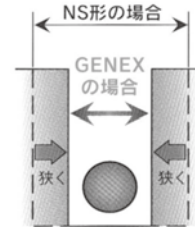
・NS形ダクタイトイル管と同等の耐震性能を確保

・K形管路以下の管路布設コストを実現

- ・新しい継手構造により施工性が向上し、従来より狭い掘削溝内での施工が可能
- ・ポリエチレンスリーブ被覆工を削減



呼び径250、掘削幅60cm
レバーホイスト1台で挿入可能

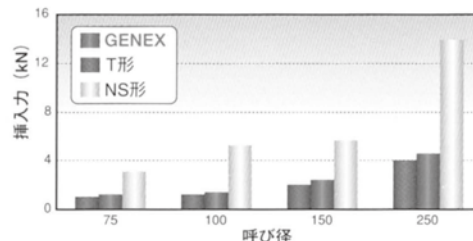
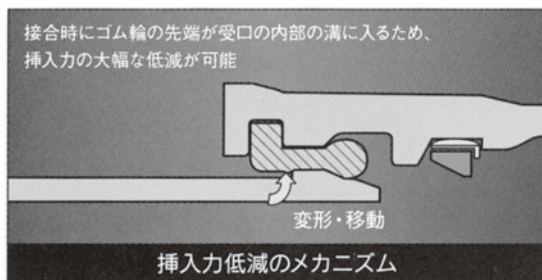
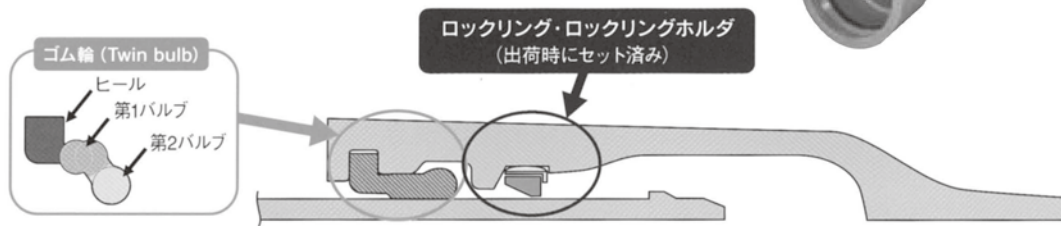
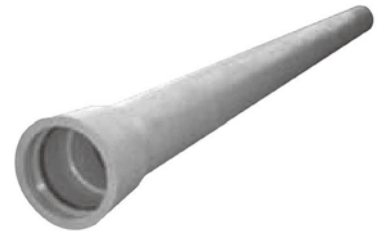


掘削幅の比較

GX形の継手構造と施工性の向上

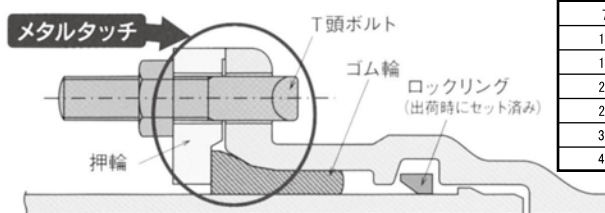
(1)直管

- ・プッシュオン形式の採用によりT頭ボルトの締め付けが不要
- ・TwinBulbの採用によりNS形の1/3(T形並)の挿入力で接合可能
- ・曲げ接合も可能



(2)異形管

- ・施工の融通性を考慮しメカニカル形式を採用
- ・メタルタッチの採用によりT頭ボルト締め付け時のトルク管理が不要
- ・K形の半分のT頭ボルトで水密性を確保



T頭ボルトの本数

呼び径	K形	GENEX
75	4	2
100	4	2
150	6	3
200	6	3
250	8	4
300	8	4
400	12	6

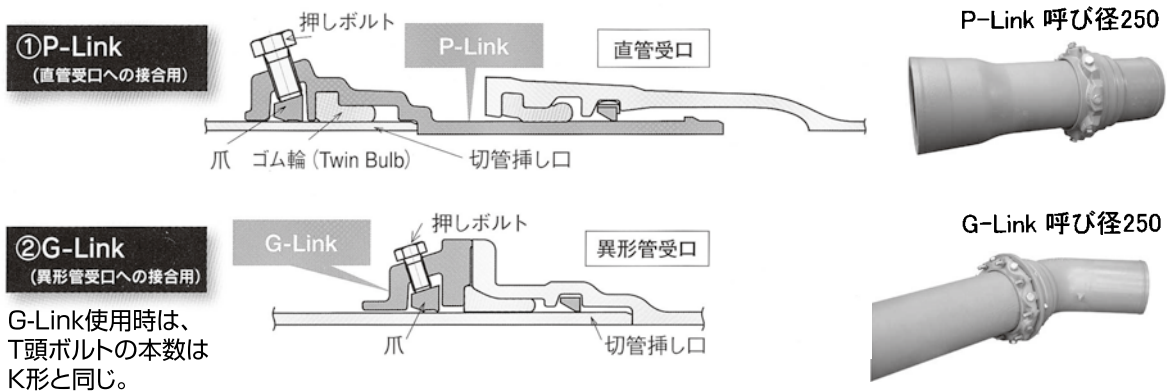


ロックリングはストップで拡大しており、現場での拡大作業が不要。

※「GENEX」は株式会社クボタの登録商標です。

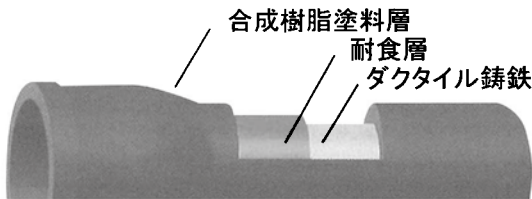
(3)切管ユニット

- ・切管ユニット(P-Link, G-Link)により溝加工なしで3DkN以上の離脱防止性能を確保(D:呼び径)
- ・爪にC-Protectを施すことにより長期にわたる確実な離脱防止性能を確保

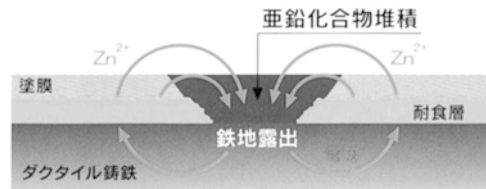


新しい外面耐食仕様“C-Protect”により長寿命を実現

- ・外面には亜鉛合金溶射に封孔処理を施した耐食層を形成
- ・部分的に鉄部が露出しても耐食層の自己防食により防食機能を維持
- ・ポリエチレンスリーブ被覆なしで100年以上の寿命が期待できる防食設計(山地を除く国土の95%)



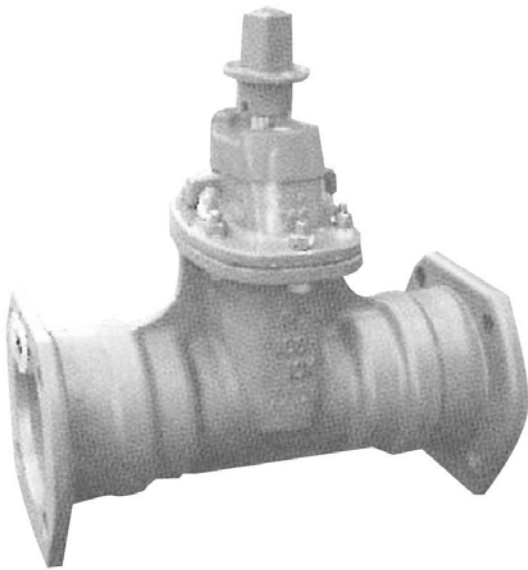
外面耐食仕様C-Protect(イメージ図)



自己防食のメカニズム(イメージ図)

GENEXバルブをラインアップ

- ・異形管と同じ継手形式を採用(両受と受挿し形式をラインアップ)
- ・管路としては一様な耐震性と施工性を実現
- ・外面はC-Protectにより長寿命を実現



(両受け形式)



(受挿し形式)